



2020・8・21

第 383 号

101-0065 東京都千代田区
西神田 2-5-7 神田中央ビル 303

TEL 03-3221-5075

FAX 03-3221-5076

敗戦 75 周年の日に憲法の大切さ再確認

安倍退陣要求、野党代表も参加

【青森県／青森県九条の会等 10 団体】

青森県九条の会、県・市町村長九条の会、憲法ネットあおもりなど、10 市民団体と県内野党は 15 日、「アベ改憲阻止！安倍内閣退陣！」市民平和集会・パレードを、青森市内で行いました。

「終戦 75 周年の節目の年。安倍を倒すために、みんなと声をあげたい」(70 代・女性)。うだるような暑さの中、集会には 130 人が参加。「憲法を守り生かそう」「安倍 9 条改憲に終止符を」のポスターやのぼりを掲げ、不戦や改憲阻止への声をあげました。

あいさつした金澤茂県九条の会共同代表は、「市民と野党が協力して安倍改憲を阻止し、一日も早く安倍晋三首相を辞めさせなければならない。来る総選挙では、(県内で)野党が独占しよう」と力を込めました。

立憲民主党県連幹事長の鶴賀谷貴県議、日本共産党の高橋千鶴子衆院議員、社会民主党県連の三上武志代表、前衆院議員の升田世喜男氏が、「臨時国会を開いて、議論を尽くせ」「二度と戦争を繰り返させない」と

「積極的平和主義」で憲法否定

安倍首相 15 日の戦没者追悼式の式辞で、第 2 次内閣になってからは使っていない「過去を謙虚に振り返り」の言葉をまたも欠落させただけでなく、「わが国は、積極的平和主義の旗の下、国際社会と手を携えながら、世界が直面しているさまざまな課題の解決に、これまで以上に役割を果たす決意」と述べました。戦争のない状態だけでなく、貧困や飢えをなくして戦争の原因を取り除くという本来の「積極的平和主義」(平和学者・ガルトゥング)をすりかえ、北朝鮮や中国を仮想的とした日米同盟を重視する意味に使っており、「集団的自衛権の行使容認など推し進めてきた“安倍カラー”をにじませたもの」(「東京」)と評する声もあります。

と訴えました。

国民民主党県連の田名部匡代表・参院議員から連帯メッセージが寄せられました。

集会後、市内パレード。「9 条改憲ぜったい反対」「国会開け」「権力私物化許さない」

などのコールで市民へアピールしました。

今必要なのは9条を生かした外交

【徳島県／九条の会徳島・憲法懇など 10 団体】 九条の会徳島、憲法懇、人権・平和運動センターなど県内の幅広い9団体は、JR徳島駅前「戦後75年 平和のための8・15共同アピール」に取り組みました。

安倍9条改憲 NO! 徳島市民アクションの大西聡弁護士は、安倍首相の敵基地攻撃能力保有発言を厳しく批判。「9条を生かした外交こそ求められる」と力を込めました。

治安維持法同盟本部の高原久美幹事は「コロナ禍で『こんな政治でいいのか』との思いが広がっている。新しい平和な日本を築こう」と訴えました。

反核・憲法フォーラムの春田洋代表委員は「戦争の爪あとは今なお残っている。戦争をしない日本を守りぬこう」と呼びかけました。

九条の会徳島の上地大三郎事務局長は「政府に『戦争するな』と命じているのが憲法9条。これを引き継ぐのが私たちの責務だ」と語りました。

核兵器禁止条約批准 日本の使命

【奈良市／平城ニュータウン九条の会】

長崎に原爆が投下されて75年目の8月9日、高の原駅でスタンディングを行いました。通路の両側に広島・長崎の被爆当時の写真を掲示し、通行中の市民のみなさんに訴えのスピーチを行ないました。

「核をめぐる状況は過去最悪です。トランプ大統領は新戦略兵器削減条約を破棄するとしており、核軍拡競争の再燃です。安

倍政権は一国も早く核兵器禁止条約を批准し、唯一の被爆国として使命を果たすべきです」と訴え、90歳の被爆者が語った「黙ってじっと座っていても平和は向こうからやってきてくれません、一生懸命手繰り寄せて、掴んで、守らないと平和なんてものは、うたかたのごとく消えてしまう」との言葉を紹介し、若者や子ども達のために憲法9条を守ることの大切さを訴えました。

通行中の小学生が「今日は長崎に原爆が落ちた日や」と言いながら、写真に見入っていました。若い人も写真をじっと見ていました。36度を超える灼熱のなかのスタンディングでしたが、「やって良かったね。若い人が関心を持ってみてくれたね」と集まった8人のメンバーは大人の責任も果たし心も弾みました。

【奈良県生駒市／生駒九条の会】 被爆75年「長崎の日」、原爆が落とされた11時2分、全員で黙とうのあと厳しい暑さの中で“平和の波行動”のスタンディング宣伝署名を行いました。

署名はテーブルに置いて実施、カンパを寄せてくれる方もありました。(本日の駅での募金は5,831円。ありがとうございました)。西教寺の“平和の波行動”の後合流された方もあり、合計17名の行動でした。

コロナ禍の世界中で命を守る行動をしている中、「核兵器はいらない!」「日本政府は禁止条約を批准せよ」と声をあげました。「広島の日」8月6日の夜、批准国がアイルランドなど3ヵ国増え、発効まであと7ヵ国、一気にいきそうで励まされます。母親連絡会からの赤紙80枚を配付し不戦も訴えました。

スタンディング600回達成

【新潟県加茂市／加茂・九条の会】 加茂・

九条の会が主催する安倍9条改憲反対のピーススタンディングが7月11日で5周年、通算600回を迎えました。粘り強い活動で世論を広げる力となっています。

加茂・九条の会は2008年3月結成。スタンディングは戦争法に反対して15年7月から始めました。毎週月曜と土曜、毎月3日と19日の月10回、国道沿いや交差点で「9条守ろう」とプラカードを掲げ通行人や車に向けアピールしています。「参加することに意味がある。最後の5分でもいいから参加しよう」と呼びかけ続けてきました。

事務局長の押見隆さんは、1945年8月に新潟県を襲った長岡空襲の話を経験から聞いて育ちました。「戦後のひもじい思いも知っています。だからこそ安倍9条改憲の危機がなくなるまで活動はやめられない」と語ります。

加茂・九条の会は平和のための「原爆と戦争展」を11年から市と共催しています。同市は元防衛庁幹部の小池清彦市長（当時）が03年のイラクへの自衛隊派遣に反対する要望書を政府に提出したこともあります。

参加メンバーの1人で新社会党支援者の丸山眞治さんは「9条が改悪されれば自分たちの子どもや孫の世代が戦争に行くことになります。党や立場など関係なく平和を思う心が大切」と語ります。

安倍改憲発議に反対する署名は約700人を集めています。加茂・九条の会代表の鶴巻大陸（だいろく）さんは「スタンディングは加茂の風景と言われるほど受け入れられています。今後も9条を守ろうという声

を日本だけではなく世界に広めていきたい」と話しています。

「原爆許すまじ」を合唱し

【大阪府大東市／野崎駅周辺9条の会】

野崎駅周辺9条の会は6日、スタンディングを行い、核兵器禁止条約の批准を市民に呼びかけました。同会は16年前の8月6日に野崎駅前で発会式を行い、毎月宣伝行動を続けてきました。

この日は15人参加。ハンドマイクで核兵器禁止条約の批准と署名を呼びかけ、横断幕やピラで新型コロナの抜本的なPCR検査体制の確立などを通勤客に訴えました。

広島に原爆が投下された時間にあわせて黙とうし、「原爆を許すまじ」を全員で合唱しました。

平和の願いを込めて鐘つき

【石川県金沢市／寺町台九条の会】 寺

町台九条の会は15日、恒例の「平和の鐘つき」を日蓮宗・妙典寺の境内で行い、45人が参加。2006年から毎年実施し15回目。

戦時中、金属不足のため鍋や釜をはじめ仏具・釣り鐘も供出され砲弾などの材料にされました。回収を免れた梵（ぼん）鐘がある妙典寺の境内で参加者らは「軍事費削ってコロナ対策にまわせ」「平和を守れ」などと声をあげながら順番に鐘をつきました。

升きよみ代表委員は「鐘つきが戦争や平和について考える機会になってほしい。高齢者から小さい子どもまで参加してくれました。命を守り9条を守って次の世代に平和な世界を手渡したい」と話しました。

遺族会の協力で侵略の歴史学習

【群馬県渋川市／渋川・北群馬九条の会】

渋川北群馬九条の会の第25回世話人会議が7月19日（日）渋川市中央公民館で開催されました。

世話人会議では前回（24回）からの活動の報告の後、山岸初男さんに「フィリピン慰霊友好親善と戦没者遺骨収集活動」について報告をしていただきました。

昨年の九条の会の集会に今回講師をお願いした山岸さんが参加して交流が深まりました。私達の要望をこころよく引き受けていただき今回の講演と成りました。今回の講演に当たり渋川遺族会の関係者にも話して、参加をお願いしました。

山岸さんはフィリピンを3度訪問し、現地の人達と交流していることがよくわかりました。日本はフィリピンだけでなくアジア各地を侵略しました。そのため先の大戦で約350万人もの尊い向か失われました。そして日本軍人も多数の命が奪われました。

激戦があったフィリピンは中国での死者数より多く最多の51万8千人もの命が奪われましたがその多くが餓死だといえます。

日本に戻った遺骨はまだ約13万柱だけです、多くの遺骨がまだ現地に眠っています。「今も未収の遺骨があると思うと、とてもしのびない」と山岸さんは話しています。

（「渋川・北群馬九条通信」NO76）

首長の会発足に一言

前千葉県長生村村長 石井俊雄

長生村では過去に合併騒動がありましたが、村の将来に悔いを残してはいけなないと考え、議員2年目でしたが告示1週

間前に村長選挙に出馬表明し当選させていただきました。

役場に入り平和都市宣言を行い庁舎にプレートを表示、新入職員には憲法を読んでもいただき感想文を書いてもらっていました。世界に誇る日本の平和憲法を知ってほしいと思ったからです。憲法25条や9条を学んで仕事をしてもらおう為でした。採用試験の時にも9条は知っていますか、と聞きますと、法学部を卒業していても「9条は知らない」という方もいました。武器を保持しない世界平和を目指す現行憲法は素晴らしいものがあります。

今、安倍自民党総理は、憲法を変えようとし9条に自衛隊を書き入れ、緊急事態条項を入れようとしています。全国首長9条の会が発足され、私も呼びかけ人となり、県内の首長さんに働きかけをしています。今年の8月には第8回目の原爆の絵展を長生村で開催しました。3日間の開催、最終日のご来場者からは「私の兄弟が広島で生活し、爆心他の近くで亡くなった。私は満州にいたので無事でした。」との貴重なお話もありました。

過去の人々を苦しめた戦争や原爆が、いかに犯罪であったかということです。今後は戦争や核兵器が無くなる社会を作るためにも今の平和憲法を守る戦いを続けていきます。また、原爆の絵展開催に向けて、憲法を活かす会の方や9条の会の会員である村議会議員にも協力していただきました。今後も粘り強く、全国首長9条の会の活動が大きくなり発展を願ひまして結びとします。

（「全国首長九条の会ニュース」No8）